



岩淵城



主郭の墨線土塁上に城名標が建つ

所在地：石川県小松市岩淵町

立地：丘陵頂部、標高120m

城主：徳田志摩（一向一揆）、織田信長軍

時期：戦国

見学時間（参考）：約1時間

（登城口から城域まで片道約15分を含む）

通称城山（しろやま）山頂に占地する。山頂の三角点には高山と表記がある。西麓に小松城下と鳥越城のある別宮を結ぶ三坂越が通る。三坂越が平野部から山麓部にさしかかる狭隘部に位置し、街道を通る物資・人馬を監視・掌握するために築城されたと考えられる。



西光寺谷登城口

故墟考は城主を徳田志摩とする。天正4年（1576）5月28日付加賀四郡旗本衆連署状案に見える徳田志摩守重清と考えられ、千代城主としても名が伝わっている。しかし、現状残っている遺構は織豊系城郭の特徴が見られ、鳥越城を攻めるのに備えて織田軍に攻略され改修されたものと推定される。

主郭は南と西に延びる尾根に沿って墨線土塁がほぼ全周しているV字形の曲輪の付け根に当たる最高所にあり、東方の尾根は堀切で遮断して、大手と想定される西方は櫓台を伴う内柵形虎口や切岸を伴う堀切を設けている。平坦地は自然地形が多く残り、臨時的な城郭だったと考えられる。あるいは予定より早く鳥越城により近い岩倉城が攻略できたために、普請の途中で放棄されたのかもしれない。尾根伝いの南方先端部に三坂越に接して小山城があり、岩淵城の出城と見られている。



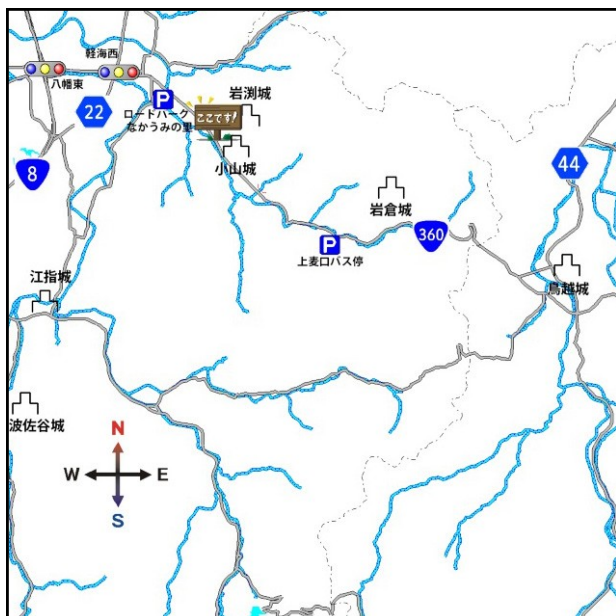
櫓台を伴う柵形虎口



谷間を進むと西方の尾根を遮断する堀切に到達する



大手側の堀切



大手の城兵駐屯推定地



南方の土塁を伴う平虎口

いしかわ城郭カードに関する最新情報・お問い合わせ
北陸城郭プロジェクト（フリー・スタイル有限会社）
〒929-0335 石川県河北郡津幡町井上の荘3-9
TEL. 076-204-6046 FAX. 076-289-3943
E-MAIL. contact@j-sampo.com
ホームページ城郭さんぽ <https://www.j-sampo.com/>